

協働のまちづくり市民会議会議録

会議名称	第13回山口市協働のまちづくり市民会議
開催日時	平成20年5月16日（金曜日）午後6時30分～午後9時15分
開催場所	山口総合支所3階 第10・11会議室
公開・部分 公開の区分	公開
出席者	辻正二委員、坂本俊彦委員、渡辺洋子委員、井出崎小百合委員、加藤結花委員、國吉正和委員、久保田美代委員、藏本信江委員、曾田元子委員、豊川智恵委員、中村保男委員、中山美穂子委員、西村美紀委員、原田雅代委員、平井多美子委員、福田嘉夫委員、益田徳子委員、山根伊都子委員、山本貴広委員、山本豊委員、若崎啓一委員（21人）
欠席者	清水春治委員、河村律子委員、原田章子委員（3人）
事務局	江藤協働推進課長、山田主幹、豊田主任主事、高橋主事（4人）
議題等	1 あいさつ 2 市民委員「市民会議への思い」発表 3 広報班からのお知らせ 4 地域フォーラムについて 5 まとめ 6 その他
内容	【1 あいさつ】 <事務局> 最初のあいさつ 本日の配布資料の確認 会議録署名委員の指名 <社会長> みなさん、こんばんは。今回で13回目の市民会議になりました。来週24日には第1回目の地域フォーラムを徳地で行いますので、本日はフォーラムで説明する内容について、協議したいと思います。 前回の市民会議から約1ヶ月近く経過していますが、その間、2回程フォーラム準備班会議を行いました。その中でまとめたものを、本日、渡辺副会長に説明していただき、協議していきたいと思います。 今後は、6月2日まで実施するパブリック・コメントと地域フォーラムでいただく質問や意見を合わせて、最終案に向けて議論することとなります。 それでは、まず恒例のスピーチを、加藤委員さんと豊川委員さんをお願いします。 【2 市民委員「市民会議への思い」発表】

<加藤 結花 委員>

みなさん、こんばんは。

私の市民会議への思いをお話させていただきます。私は広島出身で、山口市には大学進学のためにやってきました。山口市にきた当初は、親元を離れて暮らすということで不安もありましたが、今では本当にこのまちが大好きで、毎日のびのびと楽しく過ごしています。自然が豊かで、図書館や病院などの施設も整っており、人柄も素朴で優しい人が多くて、このまちで大学生活を過ごすことができ良かったと今では思っています。

そんな中で、私がまちづくり市民会議に応募するきっかけとなったのは、大学での地域政策についての演習の授業でした。そのときに「地域政策とはどういうことをするのだろう」と興味を持ち始めました。今まで何不自由なく楽しい大学生活を送り、山口のまちが大好きと公言していたけれど、私は山口について何を知っているのだろうと思いました。自分の部屋と学校との往復で、大学生が行くようなカラオケやボーリングや御飯を食べる場所以外あまり知らないし、自治会にも加入していません。そうすると、授業でまちづくりの文献を読んで色々言っても、それは机の上の話で、全く行動に移せていないとショックを受け、行動を起こさなくてはいけないと思うようになりました。ちょうどその時に、辻先生からこの「協働のまちづくり市民会議」を紹介され、これが行動に移せるチャンスだと思い、この話に飛びつきました。

こうやって、普段はお話できないような色々な世代の人や、色々な取り組みをしているみなさんと一緒に一つのものを作るということは本当に貴重な体験だと思います。この貴重な体験を通して山口市のためになればもちろん良いですが、それ以上に、まちづくりの条例が出来る頃には、私自身も成長できれば良いなと思っています。

それから、お知らせですが、今、山口市の観光資源を見直し、山口市を活性化しようという目的で、山口市観光課に御協力いただいて、6月7日の「一の坂川ホテル観賞の夕べ」でアンケート調査を実施させていただこうと思っていますので、よろしかったらそちらにも足を運んでみてください。よろしくお願いします。

<豊川 智恵 委員>

最初の会議から1年が経ち、中間案も出来て今さらなのですが、この市民会議に応募したときの作文を見なおしてみました。そうすると『協働』という言葉が有名になっていくけど、正しく理解されていないのではないかな。」というような熱いことが書いてあり、渡辺副会長からも「熱いね」と言われて少し恥ずかしかったのですが、その「協働」というのが、市民の目線と、行政の目線と、企業の目線と、色々あって、その溝を埋めるための条例をつくるのが本当に大事なのではないかなと思っていました。

私が始めて「協働」に近い活動をしたのが、2001年の山口きらら博です。そのとき初めて山口にやってきました。当時は「県民参加」という名前で、市民と行政と一緒に博覧会やろうよという気分で、私はイベントとか展示とか、県民が企画参加したことに対してボランティアとしてサポートしようという部分に関わっていました。当時はま

だ山口に来たばかりで、自分がどんなかたちで参加するのかという感じで、協働とか、そういうことを考えたこともなく、今この場にいることも、自分でもなぜだろうと思っているくらいでやっているのですが、きらら博を通じて山口で輝いている人にたくさん出会い、その後「市民活動センターさぼらんて」のことを知り、県民活動や市民活動に足を踏み入れたような気がします。もともと地元の和木町をイベントで活性化しようと思っていたのが和木町を出たきっかけで、今考えると自分は本当にまちづくりが好きなのだと思うのですが、その根底にはやはりまちが好きという思いがあって、地元の和木町ももちろんですが、山口のまちが大好きで、住んでいる人たちがそういう気持ちになれるまちであってほしいなと思っています。そのためにはこういった条例が、市民はもちろん、行政にも活用されるものでなければならぬし、中間案を一般の人が見るかな、難しいかな、と思うのですが、よく見ると私たちの目線で分かりやすくできているはずです。そしてそれを伝えていくという大きな役目が私たちにあると思っています。やっと中間案がみなさんの目に触れて、色々な声を聴けるところまできたので、それを楽しみにこれからもやっていこうと思います。よろしくお願いいたします。

< 社会長 >

ありがとうございました。

【 3 広報班からのお知らせ】

それから、本日は広報班からお知らせがあると聞いていますので、お願いします。

< 広報 平井委員 >

次回のかわら版に、市民会議のみなさんのメッセージを掲載したいと思います。この中間案を商品に見立てて、私たちがセールスマンになって売り込むときに、「この中間案のここがすごい」「この中間案のここが気に入っている」ということを100字から150字の間で書いていただきたいと思います。できれば本日中午に提出していただきたいのですが、もし間に合わない場合はFAXで送ってください。第1回目の地域フォーラムまでには間に合わせたいので、できるだけ早くお願いします。全員の意見を載せたいので、よろしくお願いいたします。

【 4 地域フォーラムについて】

< 社会長 >

続きまして、地域フォーラムについて、協議したいと思います。これまでフォーラム準備班の方々に2回お集まりいただきまして、夜遅くまでフォーラムの内容を検討していただきました。準備班のみなさん、ありがとうございました。

それでは、開催日当日の流れを、坂本副会長からお話していただきたいと思います。

<坂本副会長>

それでは、地域フォーラム開催日当日の流れについて説明いたします。まず「ブロック別地域フォーラムグループ」ということで、開催日や場所、メンバーを表にしています。その下には当日の事務局への連絡先を記載しています。

各地域のメンバーについてですが、みなさんよろしいでしょうか。もし都合の悪い方がいらっしゃいましたら、事務局へお知らせいただければと思います。開催日当日に急に都合が悪くなったときは、先ほどの連絡先まで連絡をお願いします。

続いて、当日の流れですが、各会場とも共通で、まず10時から会場の準備を行う予定になっています。こちらは、事務局で対応されるとのことですが、委員のみなさんの中で都合のよい方がおられましたらお手伝いいただければと思います。

それから、会場への移動ですが、実際に委員の集合時間は12時30分になっていますので、基本的に会場までは各委員さんでおこしてください。ただし、5月24日の徳地のフォーラムについて、送迎希望の方がおられれば事務局で対応されるとのことでした。こちらは私の班ですので、本日のグループごとのうち合わせで相談したいと思います。

他の会場の方は、よろしいでしょうか。

《異論なし》

<坂本副会長>

集合時間については、12時30分をお願いします。フォーラムは2時から開始しますので、それまでに簡単な打ち合わせやリハーサルを行いたいと思います。御協力をお願いします。

その後、1時30分に開場し、受付を行いたいと思います。そして、2時からフォーラムがスタートします。このフォーラムの内容については、この後、渡辺副会長から説明がありますが、基本的な流れは、進行、あいさつ、委員紹介、プログラム説明、条例説明、意見交換、今後のスケジュールと進行し、3時30分終了を予定しています。質疑の関係で多少長引くことも考えられますが、遅くとも4時、つまり2時間で終了するというので進行したいと思います。その後、後片付けをして解散となります。

これは一つの案として提示しておりますが、みなさんよろしいでしょうか。

《異論なし》

<坂本副会長>

本日の会議後半で、各グループで協議を行いますので、開催する地域に合わせて若干の変更は可能だと思います。以上で、開催日当日の全体の流れの説明を終わります。また何かありましたら御意見ください。それでは、フォーラムのプログラムと説明の内容について、渡辺副会長から説明していただきます。

<渡辺副会長>

説明に入る前に、今週月曜日に、ケーブルテレビの宣伝番組「90check」に、曾田委員さんプロデュースの下、中村委員さんと西村委員さんに出いただきました。曾田委員さん、報告をお願いします。

<曾田委員>

出演された中村委員さんと西村委員さん、本当にお疲れ様でした。この二人ならと思っています。二人とも期待通りでした。伝えたいことをまとめ、お話ししたのですが、中村委員さんの落ち着いたしっかりとした口調と、西村委員さんのフレッシュなやわらかい口調が、素晴らしいコンビネーションでした。19日から放送ですので、みなさんぜひ見てください。とても楽しく仕上がっていると思います。本当にお疲れ様でした。

<渡辺副会長>

それではフォーラムのプログラムについてですが、最初にプロローグとして委員の自己紹介をする時間を10分、その後中間案の説明が30分ほど入ります。

その後、中間案を見ていただく時間も兼ねて10分間程休憩を取り、意見交換に入りたいと思います。これは盛り上がり次第なのですが、このプログラムがトータルで1時間40分くらいなので、20分くらいの延長は可能だと思います。そして、その後に今後の予定をお話しするかたちにしています。

最初のプロローグのあいさつですが、「市民会議委員の〇〇です。」だけでは面白くないので、例えば「野球で例えると、応援席から好き放題言って応援している渡辺です。」といった感じで、アイスブレイクを入れてもらえたらと思います。後ほど各班で内容を話し合っただけければと思います。

それから「ゆるやかな関係づくり（パート2）」ということで、参加者に、協働についてどの程度知っているかなどを聞いていても良いと思います。この辺りは各班で自由に考えていただければと思います。フォーラムのだいたいの流れはよろしいでしょうか。

《意見なし》

<渡辺副会長>

それでは、フォーラムでの説明内容に入りたいと思いますが、私も一方的に話すことにはあまり慣れていません。そこで、本番の練習にもなると思いますし、どなたかにお手伝いをしていただきたいと思います。パソコンを操作してパワーポイントのページを送る人、ポインターで画面を指す人、時間を計る人、それから口調が早くなったときにサインを送る人が必要ですが、どなたかお願いできますか。できれば内容が分かっているフォーラム準備班の方をお願いしたいのですが。

～話し合い～

< 渡辺副会長 >

お手伝いしていただける方も決まりましたので、始めさせていただきます。

(中間案の説明)

< 渡辺副会長 >

流れについてはいかがでしたか。

< A 委員 >

基本的に参加者は何を見ながら説明を聴くようになるのでしょうか。

< 渡辺副会長 >

画面を見ながらになると思います。

< A 委員 >

条文の説明のときには、条文を見ながら聴いたほうが良いと思います。

< 渡辺副会長 >

ただ、パワーポイントでの説明中は会場の照明を落としているので、配付資料は読めませんよね。

～しばらく、各委員が周辺の委員と協議～

< B 委員 >

全体的に、地域コミュニティのところなど明確に伝えられていると思うのですが、条文を読み上げないほうがより伝わると思いました。条文を読み上げると法律を勉強しているようで、全体のイメージがつかめないように思います。ですから、要約して説明した方が良いと思います。

< 渡辺副会長 >

このパワーポイントは簡単な構成と組み立てだけを理解してもらうためのものですよ。それなら条文の説明をもう少し短くしましょうか。

< C 委員 >

私も条文を全て読み上げるよりも、条文の内容を要約して話したほうが、分かりやすいと思います。要約してゆっくり分かりやすく話したほうが、パワーポイントの映像を見ることができますし、個々の条文に対してイメージでき、頭に入りやすいと思います。

< 渡辺副会長 >

組み立てを理解してもらおうということに目的を絞ったほうが良いということですか。

< C 委員 >

そうです。

< 渡辺副会長 >

みなさん、いかがでしょうか。

< D 委員 >

同じ意見です。組み立てや関係性をポイントにしたほうが良いと思います。

< 渡辺副会長 >

他に御意見ありますか。

< E 委員 >

これだけの内容をスラスラと説明するのは大変だと思います。もう少し余裕をもち、発表者が内容を十分に理解して、ともに学ぶという姿勢で取り組むのが良いとは思いますが、条文を初めて見る参加者にわかりやすくという気持ちもあります。

< 渡辺副会長 >

説明は 20 分程度ですから、説明中は画面だけを見て、あとで資料を見るということも可能です。

< F 委員 >

参加する市民の立場からすると、時間がかかっても説明が必要だと思います。例えば頭の部分だけ読んでいって中身がないようなものは、聞いても何のことかさっぱり分からないということになります。中身を少し説明して、画面を見ながら一緒に考えていく方法と、どちらが良いのか、どの程度まで説明すべきなのかは、判断が難しいと思いますが、フォーラムはせつかくの機会なので、説明し切れないものはフォーラムのあとで、広報などの他の方法で理解を求めるという方法で進めるのはいかがでしょうか。

< 渡辺副会長 >

ということは、説明のボリュームはこれくらいで良いということでしょうか。

< F 委員 >

今の説明で何分くらいでしょうか。

< 渡辺副会長 >

少し駆け足で説明して2 2分くらいです。

< F 委員 >

最初の部分の中間案を作るまでの取り組みですが、委員のあいさつで代わりになると思うので、少し省略しても良いと思います。そうすると、実際の条例の説明の部分も含めて17、8分くらいで終るのではないのでしょうか。

< 渡辺副会長 >

そうですね。そういう方法もありますね。

< G 委員 >

条例の内容がしっかり頭に入らないと、意見交換のときに参加者が何を質問していいかわからないと思います。ですから、思いについてはあいさつのところで入れて、条文の説明はもう少し時間を取って詳しく説明したほうが良いと思います。

～しばらく、各委員が周辺の委員と協議～

< 渡辺副会長 >

当日、参加者には条文素案（中間案）と構成図、かわら版（NO.1～NO.5）を配付する予定です。アンケートについては、参加されたみなさんに付箋紙を2枚程度お渡しして、『条例に期待するもの』や『感想』などを会場に設置する模造紙に貼ってもらうことを考えています。だいたい、流れはよろしいでしょうか。それから先ほどの、説明をどの程度するかについてですが、お近くの委員と話し合いをされた結果の御意見いただければと思うのですが、いかがでしょうか。

< H 委員 >

私は徳地地域のフォーラム担当ですが、参加者の年齢層等も考慮して、条文を読む前に地域コミュニティとは何かとか、パブリック・コメントは何かというようにカタカナ言葉について説明したほうが良いと思います。それから説明の最後に、地域の課題について条例のどの部分に該当するかというような図がありますが、条例自体は抽象的なものなので、これにより理解しやすくなり、良いと思います。

～しばらく、各委員が周辺の委員と協議～

< 渡辺副会長 >

今、第11条の「地域コミュニティとは、自治会をはじめとして、子ども会や婦人会、PTAなど地縁に基づき、地域住民が自主的に参加し、その総意と協力により構成された集団のことです。」という説明が分かりにくいという意見がありました。地域コミュニティという言葉が出た時点で、説明をしたほうが良いでしょうか。

< I 委員 >

分かりやすく要約して読んだ方が良いと思います。それから先ほどの話し合いで説明の時間がもう少しできそうなので、参加者との意見交換にもっと時間をかけたほうが良いと思います。ただ、もし意見交換が長くなってしまったら、調整するということがあります。そういう中で、先ほどの意見であったように言葉の意味も説明していくというかたちが良いと思います。

< 渡辺副会長 >

では、この辺りのことは各班に任せたいと思います。基本部分がありますので、これを踏まえて、役割分担等も含めて各班で協議してください。事務局としてはどうですか。

< 事務局 >

事務局としては、ある程度の基本部分ほどの会場でも同じ説明をされたほうが良いと思います。

< 渡辺副会長 >

今までの話し合いで、条文全ては読まないということですので、例えば地域コミュニティの説明などは、各班で分かりやすいものにしていくということで良いでしょうか。

《意見なし》

< 渡辺副会長 >

他に御意見ございますか。

< B 委員 >

渡辺副会長の説明で、この画面を見ながら流れがよく分かったのですが、全く分からない人にいきなり沢山の文字を見せると、理解できないのではないかと思います。分からないのではなくて、より分かりやすいものにしたいという意見です。基本はこのかたちで良いと思うのですが、各班でもう少し手を加えてもよろしいでしょうか。全て変えるのではなく、少し内容が多すぎるところを、ポイントで絞ってシンプルにするなどの変更はよろしいでしょうか。

<渡辺副会長>

パワーポイントの内容は統一したほうが良いと思うので、シンプルにした結果、内容が良ければ、それを他の会場でも使用したほうが良いと思います。このフォーラムの結果をホームページにアップするなどのことがあると思いますし。

< A 委員 >

もう少し説明をしたほうが良い箇所などについて、最初の徳地班のフォーラムで分かると思うので、次のフォーラムに向けて改良していくのは可能でしょうか。

<渡辺副会長>

それで良いと思います。ただ、絞ったりするのは難しいと思います。

<坂本副会長>

それでも準備班でかなり絞っていますので、さらに絞るのは難しいと思います。

<渡辺副会長>

休憩の後、各班で役割分担などについて話し合っていたきたいので、また話し合いの中で気づきがあれば事務局にお知らせください。では、少し休憩に入ります。

～休憩～

<渡辺副会長>

それでは、これからグループワークに切り替えますので、各班の班長さんは進行をお願いします。フォーラムでの役割分担も、シミュレーションしながら話し合ってください。もしパワーポイントを変更したいという班があれば、大きな変更ではないという条件で、お手元のパソコンに入っているデータを修正していただければと思います。それでは、お願いします。

～フォーラム各班で協議～

【 5 まとめ】

<辻会長>

それでは、徳地班は引き続き話し合いをされるようですが、全体としてはこれで終了したいと思います。各班とも頑張っていたきたいと思います。事務局から何か連絡事項はありませんか。

	【 6 その他】 <事務局> 次回の会議の内容について 自治会連合会との意見交換会のこと アンケートのお願い 事務連絡 <辻会長> それでは、以上で本日の会議を終了します。お疲れ様でした。 以上 会議の経過を記載し、その内容に相違のないことを証するため、ここに署名する。 署名委員 辻 正二 署名委員 坂本 俊彦
会議資料	1 レジューメ 2 第13回プログラム（資料1） 3 地域フォーラムについて（資料2） 4 アンケート
問い合わせ先	自治振興部協働推進課協働推進担当 TEL 083-934-2965